

# 高雄日本人学校の風

校長 高口和治

## 5月14日(火)

学校運営委員会がありました。「移転工程表」「教室の内装等の進め方」「26年度の講師等の採用計画」「学校支援ボランティア制度」について話し合いがなされました。移転に伴って保護者が心配していることも多いので、PTA役員さん、学校運営委員さん、担任からでも学校運営委員会に話題が乗るようにしようという話題がでました。見学についても、耐震工事(7月8月)の前に実施しようということになりました。

## 5月15日(水)

小学4年生が消防署見学に行きました。消防署に着いた時には消防車は、出払っていたとのこと。消防車が戻って来て、消防服を脱いでそこで説明をしてくれたそうです。

私は、澁谷先生が引率でしたので、小学校3年生の社会科を担当しました。

小3の今やっているところは、例年CRTテストで弱いところですが、方位を正しく覚えることができないのです(たぶん、使わないので忘れると思います。)

こんな授業をしました。台湾の立体地形図、高雄市の地図、世界地図、台湾の地図を斜めや横に貼ってみました。そこは、3年生「校長先生、地図が反対だよ。ちゃんとはってよ」と、口々に。私「じゃ、黒板にきて、みんなで直して」全員が出てきて、見事、『北が上の地図』に張り直していました。ここで面白いのは、ご家庭でも地図を利用している姿が理解できました。日本の教育では、地図教育をかなりやります。ほとんどの日本人が地図を読めます。

そのあと、「上が北、下が南、右が東、左が西」の図を書き、北南東西の字を消すと予告し、3分で覚えなさいと指示して、そのあと、何人かに当てました。

そして、次は、大きめの世界地図(いわゆる昔航海につかったというメルカトル図法)と地球儀、そして、方位磁石、十が書かれている透明シートを2人に一組ずつ渡しました。

問1 あなた方二人が台東から船に乗って東に、東に行ったとします。アメリカのなんという国につきますか?

一問目の答えが出た組は私にこっそり報告に来ます。できたら、問2に取りかかります。

問2 台東から東に向けてまっすぐどこまでもとぶペットボトルロケットを発射したとします。アメリカのなんという国につきますか?

私が用意したシートを使い、みごとできたグループがいくつもありました。しかし、本当に裏面に書いた、「方位」と「方角」が理解したというわけではないでしょう。説明できなくとも、今回はなんとなく「同じ東に行くというのに違う」でとどめておいてもかま

わないのです。

これは、実は、「方位」と「方角」がごちゃごちゃになるので、中学生ではよくやる授業です。小3は、これから「まち探検」です。授業では、東西南北と記号が分かればいいのですが、実は、「方位」と「方角」がわからないと大きな間違いが出てきます。

方角：ある地点をもとにして、東西南北で表した方向のことです。

方位：ある方向が基準の方向に対してどのようなものであるかの関係を示します。

私は授業ではやりませんでした。教室から磁石でみると、北の方向に工事中のマンションが見えます。ところが、学校周辺の地図（真ん中には学校がない）で、学校から西の方向にマンションがあることになってしまいます。地図上の見かけの方位と実際の方角が違ってしまう場合があるのです。（たぶん、わかりにくいと思います。実際にやってみてください）

問1は、メキシコ（つまり、地図上の見かけ状の東、東に行くのです。緯線に平行したところ行きます）

問2は、アルゼンチンあたりにいきます。地球儀に十の一方を北にし、その右側（東）を伸ばしていきます。アルゼンチンにつきます。

だまされた感じがしているかもしれません。方角と方位の違いです。

7時間目は、初めての「アメリカンスクール等進学英語クラス」「日本進学英語クラス1、2」「在台湾高校進学クラス1、2」の授業の開始です。2回見て回りました。月に一度くらいしか時間がとれません。ここで学ぶのは、家でどのように学ばばいいかということ。を学ぶことになります。昨年、中学部職員と進路がかなり多岐にわたり、学校でも取り組めることはないかと論議をし、より、一人一人のニーズに合わせる事ができる学校の体制を取ることにしました。ですが、学校での勉強はきっかけでしかないことをご理解ください。

### 5月16日（木）

天気が悪く、雷が鳴ったときもありました。雷がなったらすぐにプールからあげます。遠くで鳴っていたとしても、プールはしばらく入ることができません。

小3が学校周辺の社会科見学に行きました。澁谷先生作成の地図と実物を合わせての実習です。

### 5月17日（金）

実践大学日本語学科の学生と中学部2年生の社会科「身近な地域」で一緒に学習します。大学生は、観光ガイドのつもりで調べています。私達も学習ですので、行くところを調べています。現場で、説明をしてもらい、中学生は質問をするという形式で行いました。

中学社会科で「身近な地域」で、実際に町にでることは、高雄日本人学校では過去10年ほどはなかったようです。

4月30日は、小学部5年の宿泊研修の下見に教頭先生と中村先生が一日出かけました。すでに、春休みには本田先生（昨年の担当ということで、準備をできるところまで）と教頭先生が行ったのですが、中村先生は、まだ、日本。今回は、こまかな打ち合わせをしてきたと報告がありました。

5月1日は、私は、中2の夏休み明けから編入学予定の保護者が来校するというので、その手続きに来ていました。中学部全員で野外活動の準備で相手の学校に行ったり、サイクリングの場所を確認したり、安全と打ち合わせに行ってきました。私自身は2時間くらいしか学校にいませんでしたが、澁谷先生も小3の授業で学校周辺の調査に出かけ、子ども達が安全に、かつ、しっかり理解できるように準備をしていました。高堀先生も調理実習の準備でスーパーに買い物やら家庭科室で活動をしていました。

普段の日には、まとめて準備ができないために、休みの日にまとめて準備をすることもあります。当然、家や別な時間帯で準備をしている職員も多数です。（と、いやらしくない程度に紹介をしてみました。）